



2011年9月21日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 クレハ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 崎 隆 夫  
コ ー ド 番 号 4 0 2 3 ( 東 証 第 一 部 )  
問 合 せ 先 広 報 ・ I R 部 長 数 井 明 生  
( T E L 0 3 - 3 2 4 9 - 4 6 5 1 )

## 中国におけるフッ化ビニリデン樹脂製造子会社の設立および設備新設について

当社は、リチウムイオン電池（以下、「LiB」）用バインダーおよび一般産業用エンジニアリング・プラスチックとして使用されているフッ化ビニリデン樹脂の需要拡大に対応して、現有のいわき事業所（福島県いわき市）の製造設備（年産4,000トン）に加え、中華人民共和国江蘇省常熟市の常熟新材料産業園に、フッ化ビニリデン樹脂製造子会社として呉羽（常熟）氟材料有限公司（※氟＝フッ素）を設立し、年産5,000トンの製造設備を新設することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、高分子重合技術をベースとして1970年に日本で初めてフッ化ビニリデン樹脂の工業生産を開始しました。以来、フッ素樹脂としての耐薬品性や電気的特性などの優れた性能と汎用樹脂並みの成型加工性を持つバランスの取れたエンジニアリング・プラスチックの特長を活かし、LiB用バインダーや、耐食バルブなどの一般産業用として、様々な用途で使用されてきました。

LiB用バインダーは、携帯電話、高機能携帯端末、ノートパソコン向けの民生用小型LiBの数量拡大に伴い今後も安定的な需要拡大が見込まれるほか、EV、HEV、PHEV向けの車載LiB用途や電力貯蔵用定置型電源用途などの大型LiB用向けに急速な需要拡大が見込まれています。

また、一般産業用においても、国内外からの旺盛な需要に加えて、太陽電池用バックシート向けや水処理用中空糸膜向けでの需要拡大が見込まれています。

当社は、本年7月にいわき事業所のフッ化ビニリデン樹脂製造設備を年産2,700トンから4,000トンに増強したところですが、アジア市場をはじめとした今後の世界的な需要拡大に対応すべく、原料の安定確保を含め中国に下記の子会社を設立し、フッ化ビニリデン樹脂の安定的な供給体制を構築してまいります。

なお、本件による当期業績予想への影響はありません。

### 【呉羽（常熟）氟材料有限公司の概要】

所 在 地：中華人民共和国江蘇省常熟市常熟新材料産業園（本工場用地面積約9.3万㎡）

資 本 金：60百万USドル（当社グループ100%出資）

設 立 時 期：2011年12月予定（2012年夏着工・2014年春稼働開始予定）

設 備 能 力：フッ化ビニリデン樹脂製造設備／年産5,000トン

設 備 投 資 額：約60億円

※ フッ化ビニリデン樹脂 = PVDF : Polyvinylidene fluoride

※ バインダー ~ 正極ではアルミ箔に正極材を、負極では銅箔に負極材をそれぞれ塗布するときに使用する接着剤。

※ 当社のフッ化ビニリデン樹脂売上高：2010年度実績約60億円、2015年度計画約160億円

以上